

論語学習の取組について

清利 太志

伊里地区には日本遺産に指定されている旧閑谷学校があり、江戸時代に岡山藩の発展に尽くした熊澤蕃山のゆかりの地でもあるため、本校では健やかな心身の成長に向けて、論語学習を継続的に行っています。毎朝の各クラスでの論語の朗読に加え、月1回ゲストティーチャーによる全校での論語の朗読を行っています。

また、郷土の伝統と文化を尊重し、地域の発展に努める態度を養うことを目的として、道徳教材「伊里地区と論語」を開発しました。9月の参観日には2年生の保護者の方に道徳の授業を参観していただきました。

今後、10月3日からの週を論語ウィークとして、生徒会主催の論語かるた大会や校内論語検定を実施します。論語に触れる機会を設け、論語を学ぶことで、人として大切にしたいことや人としての生き方について、生徒たちとともに考えていきたいと思えます。



道徳の様子



R3 論語かるた大会の様子